

# 和歌山だよいい

平成21年 7月号



本州最南端 (串本町)

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P9
3. お知らせ…………… P10～P11
4. ふるさと歳時記…………… P12



蓮

## 「やったふり行政」

旅をして道路を走っていると、さまざまなスローガンを掲げた看板とかのぼりとかをよく見かけます。また、県から出されたものも含めて世の中には多くの啓発的なかけ声を記したビラなどがたくさん存在しています。最近ではバスの車体にもこのような標語が見られます。皆すばらしい内容が書かれていて、訴えるものがあることは事実ですが、その訴えを必要とする不都合な事態はなかなかなくなりません。

私は、行政の目的は、このような実態としての不都合をなくすことであると思います。和歌山だけ整備が遅れている結果、和歌山を日本の発展から取り残すことになった高速道路を整備すること、人々の暮らしから差別をなくすこと、青少年を麻薬や暴力や非行から守ること、さまざまな自然災害から人々を守ること……。そのようなことを実現するためには、スローガンや標語を掲げることも有益かもしれませんが、のぼりを立てたり、パンフレットを作ったりするだけでも、行政的にはかなりの労力と経費がいるのですが、のぼりやパンフレットを作ったら自分の仕事は終わりと考えてはいけません。それだけで県民が幸せになるわけではないからです。もっと地道な努力を多くの人々を巻き込んで行うことが大事で、そのための戦略を立て、制度を作り、ねばり強い努力を継続することが大事であると思うのです。スローガンや標語によって、私たちはそのことを忘れてはいませんよ、私はがんばっていますよと自己弁護することだけで終わってはいないでしょうか。行政がこういう活動だけで終わっては、それは「やったふり」にすぎません。県の行政がそれではいけません。本当に困っている県民がたくさんいて、本当に不都合な事態があちこちにあるのですから、その解決のために、「やったふり」に留まらない本当の努力を県は全員一丸となって続けていかなければならないと思います。



「ジャパンオープン・荻村杯 2009 国際卓球選手権和歌山大会」において挨拶する仁坂知事。世界からトップクラスの選手を迎え最大に開催されました。

## 今月の和歌山県政トピックス

\* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

### ●「在京和歌山県人会通常総会」と「京都和歌山県人会定時総会」開催

#### 「在京和歌山県人会通常総会」

・6月14日、虎ノ門パストラル（東京都）において、在京和歌山県人会の通常総会が開催されました。出席会員は180人、仁坂知事、県選出の国会議員も来賓として出席しました。参加者された方々は終始和やかな雰囲気懇談されていました。



挨拶する竹中会長



・また、当日会場内において、和歌山県産品の紹介をさせていただきました。喜集館コーナーでは物産の展示販売、プレミアム和歌山の紹介コーナーでは「梅酒の試飲」、そして、プロジェクターによる「わいわい市場」の紹介を行ないました。

#### 「京都和歌山県人会定時総会」

・6月21日、ホテル平安会館（京都市）において、京都和歌山県人会定時総会が開催されました。

・総会では、松井会長のご挨拶、八塚事務局長の事業報告などの後、児玉大原記念病院グループ代表より「高齢化社会にお



ける京都大原記念病院グループの取り組み」と題して記念講演をいただきました。

・懇親会では、会員の皆さん全員で、「故郷」「青い山脈」などを合唱し、楽しいひとときとなりました。

・なお、「在京和歌山県人会通常総会」「京都和歌山県人会定時総会」とも、県の税務課が、会場受付において、ふるさと応援寄付ブースを設置させていただきました。皆さんご協力ありがとうございました。

・今後ともお元気で、益々ご活躍されますことをご祈念いたします。

● 東海和歌山県人会 105周年記念 高野・龍神温泉ふるさと訪問旅行

・6月20日、21日、東海和歌山県人会の105周年記念事業として高野山と龍神温泉を巡る「ふるさと訪問旅行」が行われました。

・山口春三会長、稲垣愛知県副知事など参加者56名が2台のリムジンバスに分乗して名古屋を朝8時に出発。「和歌山マリーナシティ」で海鮮バーベキューの昼食後、高速道路を南下して田辺市に到着。紀州田辺梅林で「梅もぎ体験とジュース作り」を体験しました。

・田辺市龍神村の「国民宿舎 季楽里 龍神」で下和歌山県副知事や森田辺市副市長等が出迎え、懇親会では田辺市熊野ツーリズムビューローの多田会長も参加し、田辺市産業政策課の職員が地元の色々な梅酒をPR、試飲を行うなど終始和やかに行われました。

・翌日、龍神スカイラインを経て「高野山・奥の院」に参拝。高野町内で昼食後、橋本市から京奈和自動車道により帰路につきました。



懇親会で挨拶する山口会長



● 本県への企業立地件数が65件になりました！

・この度、下記の2企業進出により、平成19年以来の企業立地件数が65件となりました。

①「KINCHO」ブランドで知られる、大日本除虫菊（株）（本社：大阪市）が、海南市「潮見台用地」に新工場を建設することが決定しました。大日本除虫菊（株）は、和歌山県有田市出身の上山氏が創業され、世界初の蚊取り線香発明企業として明治18年の創業以来業界を牽引してきた、蚊取線香と家庭用日用品の製造販売を行っている会社です。

②共同印刷（株）（本社：東京都）が生産能力の増強のため、有田川町内に工場を増設することになりました。共同印刷株式会社は、商業印刷を中心とする総合印刷業を営み、業界3位の売り上げを誇る創業100年以上の老舗でもあります。

● 花王「エコテクノロジーリサーチセンター」を新設予定

・（株）花王は、和歌山事業場（和歌山市）内に、次世代環境技術の研究拠点となる研究施設「エコテクノロジーリサーチセンター」（呼称：ETRC）を新設することとなりました。

・同センターは、3つの研究施設からなり、2011年の全研究施設の完成を目指します。なお、ETRC本棟は、地上7階建て、花王の研究棟としては最大規模となります。

●ジャパンオープン・荻村杯 2009 国際卓球選手権和歌山大会開催

・平成21年6月11日（木）～14日（日）の4日間にかけて、和歌山ビッグホエールで「ジャパンオープン・荻村杯 2009 国際卓球選手権和歌山大会」が開催されました。

・本大会には、世界16カ国約150名の監督、選手、役員の方々を迎え、延べ9,000名の観客が会場を訪れました。

・大会には、日本を代表する水谷隼選手、岸川聖也選手、平野早矢香選手等が参加し、今大会で福原愛選手と石川佳純選手がダブルスで試合するなど豊富な話題を提供する大会となりました。

・また、地元特別推薦枠として、沼田勝選手（住友金属物流）と、山本真理選手（オークワ）が出場し、沼田選手は残念ながら予選で敗退したものの、山本選手は、予選で2勝をあげ、決勝トーナメントに進出。決勝トーナメント1回戦で今大会3位に入賞したシンガポールのスン・ベイベイ選手に1-4で負けたものの、地元選手の活躍により、県民に夢と感動を与え、明るい話題を提供することができました。

【大会概要】

・1989（平成元）年から全日本空輸が冠スポンサーとなり「全日空グランプリ」として開催された大会であり、1995（平成7）年から、故・荻村伊智朗氏（第3代ITTF（国際卓球連盟）会長・元日本卓球協会副会長）の世界卓球界の発展に尽力された功績を称え「荻村杯」と冠されている大会です。和歌山県での開催は、11年ぶり2回目となりました。



日本代表選手団との懇談会



福原・石川選手も参加

●「世界が認める輸出有望加工品40選」に県内業者の5商品が選定

・農林水産省が「世界が認める輸出有望加工食品40選」として、今後、輸出の拡大が期待できる加工食品40品目をコンテスト方式で選定しました。

・本コンテストには、253品もの応募があり、駐日外国大使館員、貿易会社関係者、国内外のメディア関係者など134名が、試食試飲を行った後に対象分野ごとに投票し、県内からは「チョーヤ梅の実（JA紀南）」、「あんぽ柿（JA紀北かわかみ）」「紀の国有田みかん黄金ジャム（早和果樹園）」、「味びったり（南紀梅干）」「きよみ 手しぼり（伊藤農園）」の5商品が選ばれました。また、「あんぽ柿」は、最も人気のある商品の一つとして紹介されました。選定された40品目のうち5品目、8分の1が和歌山県産品であることは非常にうれしいことです。これから、県が今熱心に取り組んでいる輸出促進プロモーションの対象としていきます。



あんぽ柿：JA紀北かわかみ



チョーヤ梅の実：JA紀南



きよみ 手しぼり：伊藤農園



味びったり：南紀梅干(株)



紀の国有田みかん黄金ジャム (株)早和果樹園

●今年度第1弾シンガポール伊勢丹で和歌山フェアを開催

和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会では、県産農水産物等の海外での販路拡大を目指し、平成21年度の海外プロモーションの第一弾として、シンガポール伊勢丹で「和歌山フェア」を開催します。また、シンガポールとタイの量販店でも桃の販売を行います。

**フェアの概要**

実施日 平成21年7月14日（火）～22日（水） 9日間

場所 シンガポール伊勢丹スコッツ店

内容 ○県産桃、冷凍あんぽ柿、梅シロップ、南高梅ジャム  
きんかんマーマレードの販売、試食PR  
○冷凍青梅を使った梅シロップ作りの実演販売

店舗特徴：シンガポール随一の繁華街オーチャード・ロードとスコッツ・ロードの交差点に位置し、ローカル富裕層をターゲットにした地域でも屈指の総合百貨店です。



（昨年のシンガポール・マレーシアでのフェアの様様）

● 2009モンドセレクション受賞者紹介

- ・和歌山県内での食品の国際品評会「2009年モンド・セレクション」の受賞が下記のとおり決定され、県庁を訪問されました。
- ・今回受賞されたのは19社の方々に、本県の特産品である梅や醤油、干物をはじめとした34品が世界的に高い評価を受けました。(受賞事業者・受賞商品につきましては、食品流通課把握分です。)
- ・田端酒造株式会社の「羅生門 龍寿」は21年連続での最高金賞受賞となり、これは世界初の快挙です。また、株式会社南紀白浜富田の水の「南紀白浜 富田の水」は8年連続での最高金賞受賞、サカイキャニング株式会社の「霊峰高野山 大師の水」は3年連続での最高金賞受賞となり、和歌山の水の品質の高さが証明された結果となりました。

**2009年モンド・セレクション受賞内容一覧表**

事業者名	受賞商品	受賞内容
(株) アセロラフーズ 田辺市	アセロラ黒酢	金賞【初】
E H製菓(株) 田辺市	黄金の哲学(カステラ)	金賞
井口食品工業(株) みなべ町	原酒 紀州絵巻 桜梅酒 梅子桜子 デザート梅 梅の舞	最高金賞 最高金賞 最高金賞
伊藤農園 有田市	手しぼり100% ピュアジュースみかん900ml	金賞【初】
紀州道成寺 雲水 日高川町	雲水釣鐘まんじゅう	金賞
(株) 岡畑農園 田辺市	幻の梅500g 幻の梅1kg 梅宝水100ml (ストレートタイプ・保健機能食品) 梅宝水720ml (濃縮タイプ・保健機能食品) 梅菓匠	金賞【初】 金賞【初】 金賞【初】 金賞【初】 金賞【初】
おぎきのひもの 串本町	うるめいわし	銅賞【初】
川口水産(株) 有田市	きざみうなぎの蒲焼き	金賞
(株) 木の国 湯浅町	ブルーベリー酢 紀州南高梅シャーベット ふるよし三宝柑コンフィチュール	銀賞【初】 銅賞【初】 銅賞【初】
(株) 紅梅園 田辺市	紀州生梅ジャム 完熟梅シロップ デザート梅の夢	金賞【初】 金賞【初】 最高金賞
サカイキャニング(株) 橋本市	霊峰高野山 大師の水500ml 霊峰高野山 大師の水2L	最高金賞 最高金賞
(株) 大覚総本舗 かつらぎ町	深山の恵み聖地高野山水系の水 白ごま豆腐 黒ごま豆腐	金賞 銀賞 銅賞
田端酒造(株) 和歌山市	羅生門 龍寿(日本酒)	最高金賞【21年連続】 ※日本最高連続記録
(株) 南紀白浜富田の水 白浜町	南紀白浜 富田の水	最高金賞

(株) 濱田	田辺市	金箔入り梅酒「HAMADA」	最高金賞
(合) 丸正酢醸造元	那智勝浦町	那智黒米寿	最高金賞
丸新本家 (株)	湯浅町	九曜むらさき醤油	最高金賞
紅葉屋本舗	串本町	本竹皮包ようかん・本練り 本竹皮包ようかん・柚子	最高金賞 金賞
湯浅醤油 (有)	湯浅町	生一本黒豆醤油 丸新ゆずポン酢	最高金賞 金賞

(五十音順にて記載)

## ●新農林水産業戦略プロジェクト 第1弾！！

・和歌山県では、県長期総合計画に掲げる農林漁業者の所得向上を図るため、生産・加工・流通・販売の総合的な取組を推進する新農林水産業戦略プロジェクト推進事業を本年度よりスタートし、6月19日にその第1号を承認しました。

・新農林水産業戦略プロジェクト推進事業は、地域により異なる課題に対応したボトムアップ方式のプロジェクト(実施期間が3カ年以内)に対して、補助限度額750万円、事業費の1/2を補助する事業で、本庁と振興局にプロジェクトチームを設置するなど農林水産部の総力を挙げて推進しています。

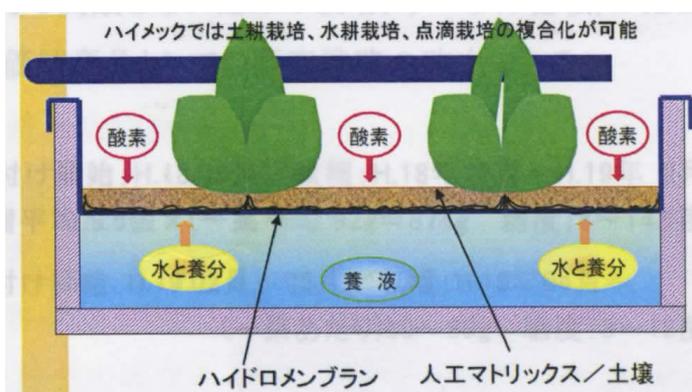
・今回承認したプロジェクトは、紀北川上農業協同組合が事業主体となり、「ハイメック方式による超高糖度トマトの生産拡大と販路開拓」に本年度から3年間、事業費1,233万円で行うものです。

・具体的な取組として、ハイメック方式により糖度の高いコクのあるトマト(目標糖度:11度以上、一般的なトマトは4~5度)を生産し、付加価値を付けるために光センサーで糖度を測る選果機をリースで導入して糖度保証出荷を行います。

また、イタリアンレストランや高級スーパー等への販売促進活動をはじめ、レストランシェフ等を対象とした産地でのプレゼンテーションとともに、マーケット別出荷容器を開発することとしています。

・これら取組により、平成25年の目標として、栽培面積を2haに拡大、農家所得として1億6千万円をめざします。

・和歌山県では、本年度に県内で30プロジェクトの展開をめざします。



※ハイメック方式とは、特殊なフィルムを養液に浮かべてその上で植物を栽培する方式で、植物が求める養水分のみフィルムを通して供給するシステムのため、トマトでは糖度等が高くなる特性を活用した栽培方式です。

### ●「紀伊半島知事会議」開催

・優れた自然や歴史・文化等を有する紀伊半島地域を構成する、和歌山県、三重県、奈良県の3県知事が一同に会し、半島地域の共通課題について話し合う「第20回紀伊半島知事会議」が去る7月7日、三重県熊野市の里創人（リゾート）熊野倶楽部で開催されました。

・当日の会議では、活発な議論が展開され、少々時間不足ではありましたが、「世界遺産等の保全と活用」「交通体系の整備」「熊野川の保全・復元」「新過疎法の制定」の4項目について合意がなされました。

・また、3県知事会議終了後、施設内において「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されてから5周年を記念して、3県知事による記念植樹が行われました。前日からの雨で足場が悪い中でしたが、和歌山県の木である「ウバメガシ」、奈良県の「スギ」、三重県の「神宮スギ」がそれぞれ植えられ盛大な拍手で終了しました。

・翌日には、熊野地域の防災拠点である「東紀州（紀南）広域防災拠点施設」などを視察した後、最後に「三重県立熊野古道センター」を訪れました。

・なお、同時に開催された世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会において、登録5周年記念功労者表彰として和歌山県の坂本勲生さん他2団体が受賞されました。

2日間にわたる日程で、3県知事が多岐に渡り率直な意見交換がなされました。



### ●県中南部で集中豪雨。田辺市で水害発生

・7月5日から7日にかけて、県中南部が局地的な豪雨に見舞われました。7日午前中には、田辺市の会津川が氾濫しましたが、県、市、警察関係、地元消防団等、皆で必死に食い止め、床上浸水45戸、床下浸水145戸にとどめることが出来ました。しかし、上流の右合津川では、1名の方が川に流され亡くなったのは痛恨の極みです。

・この集中豪雨により、県内各地で道路などの公共土木施設の大きな被害が発生していることから、県は7月8日に「緊急災害対策派遣隊（TEC-FOCE）」の派遣を国に要請して、被災状況の実態調査や早期復旧に向けた復旧方針等の技術的支援、助言を求めました。今後早期完全復旧に向け、全力で取り組んでいきます。

### ●高野山町石道 道普請ウォーク開催（環境保全活動）

・7月5日、「世界遺産登録5周年記念 一万人の参詣道環境保全活動」のオープニングイベントとして、高野山町石道道普請ウォークが開催されました。220名が参加し、丹生都比売神社から壇上伽藍までの約1.5kmを語り部の説明を受けながら歩きました。そして、歩きながら町石道の荒れた路面に土を入れて道を補修しました。

・参加者の方には高野山町石道の魅力や世界遺産としての価値を理解されるとともに、次代に向けた参詣道の保全意識の高まりが感じられました。



● 藪下将人（和歌山県由良町出身シンガーソングライター） 広く活動！

- ・藪下さんは、和歌山中心にライブハウスや路上ライブを精力的に行い、数々のコンテストや、テレビ、ラジオにも多数出演し、幅広く活動中のシンガーソングライターです。
- ・今年の4月には、藪下さんの作品である「がんばれ故郷」が河島英五音楽賞、最優秀作品賞を受賞しました。
- ・藪下さんは、「和歌山を愛し、そして皆さんにも和歌山を愛してもらえる様な歌を届けて行きたい。」と語り、頑張っています。
- ・この度、県庁にも訪れ、仁坂知事に、活動報告を行いました。  
（右写真）皆さんも応援をお願いします。



● 世界遺産熊野本宮館が開館オープニング

- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録5周年を迎え、田辺市は同市本宮町内に「世界遺産熊野本宮館」を開館いたしました。
- ・7月3日には、開館を記念して田辺市主催の記念式典が盛大に開催され、仁坂知事をはじめ300人もの方々が出席しました。
- ・同館は、熊野本宮大社前にあり、建物は全面ガラス張りの紀州材をふんだんに使った木造平屋建の2棟で、計1380平方メートルの広さを有します。また、世界遺産関係の講演会等を実施する240席の多目的ホールや世界遺産と熊野本宮を紹介する展示コーナーなども備えています。
- ・同館の完成により、世界遺産の保全や活用はもとより、世界遺産・観光情報の発信の強化、地域づくりの一層の促進が図られることが期待されています。
- ・これまで田辺市本宮行政局内にあった県世界遺産センター、熊野本宮観光協会、財団法人和歌山健康センター熊野健康村も同館に移転し、本宮館と一体となって世界遺産の魅力や観光情報を発信します。



● 平成21年産桃のトップセールス（大阪市中央卸売市場）

～桃「白鳳」の出荷を迎え、食味と安全性をPR～

日時：7月6日 5：00～

場所：大阪市中央卸売市場本場（大阪市福島区野田）大果大阪青果果実売場

- ・本県産桃の主力品種である「白鳳」の出荷を迎えるのに合わせて、和歌山県 仁坂知事、紀の川市 中村市長、JA紀の里 厚地組合長らが法被姿でトップセールスを行いました。
- ・「今年の桃は、糖度が高く食味が良いため、大変おいしい。また、和歌山の桃は安全性のチェックは2重に行っている。おいしくて、安全な和歌山の桃をご愛顧願います。」と大々的に市場関係者に和歌山の桃のPRを行いました。
- ・特に好評を博し、試食用桃の配布を始めると、瞬く間に用意された桃はなくなりました。





## まるかじりわかやま

和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

**和歌山の桃！**  
**おいしさお届けナンバー1！**



「電話帳」といわれる桃専用の袋・写真上  
脚立に上り、袋をかけている様子・写真下

### ～桃の大産地、和歌山～

和歌山県の特産品の桃は、生産額が45億円と全国第3位（平成19年農林水産統計）。主な産地は紀の川流域に集中し、水はけの良い砂地と温暖な気候が産地を育てています。また袋掛けや摘果（花）といった桃栽培独特の手間をかけた管理により、美味しい桃が消費者の元へ届けられます。

### ～銘柄産地「あら川の桃」の情報が届きました～

桃の大産地、紀の川市桃山町の生産者、片山高一さんから産地ならではの話しをお伺いしました。

あら川の桃は、1782年に摂津国（現：大阪府池田市）から桃山町の前身である安楽川町に持ち込まれ、栽培が盛んになりました。

最高の桃づくりのため、徹底した栽培管理に労力は惜しみません。桃栽培には果実1つ1つに袋をかぶせる作業があるのですが、病虫害防除はもちろんのこと、日焼けを防ぎ美しい果実に仕上げるための重要な技術です。

さらに反射マルチを敷く時期にも気を配り、あら川独自の上品なピンク色の桃に仕上げてゆきます。

収穫は果実を傷めないよう手のひらに包み込むように大事に採ります（片山さん談）。



「今年も順調！」と生育  
状況を確認する片山さん



今年は雨も少なく天候も順調、味の良い桃を乞うご期待！紀の川市フルーツキャラクター、「ももぷる」

～和歌山の桃にはどんな品種があるの？～

【白鳳】

桃の代表的な品種で外観は赤味をおび、果肉は白色。やわらかく甘さも十分の人気者。

7月上旬からお目見えです。

【清水白桃】

果皮も果肉も白っぽく、上品な甘さで果汁がたっぷり。

和歌山では、白鳳と並んで多く栽培されており、7月中旬から収穫が始まります。

【川中島白桃】

大玉で日持ち良し。8月上旬から収穫でき、盆需要品種として導入が進んでいます。



～桃の美味しい食べ方は？～

桃はデリケートな果物で、店先では1玉ずつネットをかぶせて並べられています。つい触れたくくなりますが美味しい桃の見分け方として、全体的に丸く青みが抜けいい香りがするものを選ぶとよいでしょう。

また、冷やしすぎると甘味がとんでしまうので、いただく2～3時間前に冷蔵庫で冷やすとよいでしょう。

～桃の効能～

桃は美味しいだけでなく、体にやさしいってご存じですか。

果肉には食物繊維が豊富なので、整腸作用が期待できます。また、血圧を下げる作用があるカリウムが多く含まれており、血圧の高い方にはおすすめ。コレステロールを下げる働きもあり、肥満が気になる方も食べると良いでしょう。

★夏の暑さで弱った体を癒しませんか？

「新しょうがの食し方」

新しょうがの甘酢漬



① 新しょうが 500g



② 根本の赤い部分を1cmほど残し、繊維にそって薄く切ります。



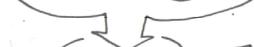
③ 塩 20g



1時間 おきます

④ 酢 2 カップ

砂糖 1.5 カップ



煮たて  
さまします  
(甘酢)

⑤ ③のしょうがを絞って甘酢に漬けこみます。



### ～ 本州最南端の町 潮岬、橋杭岩そして紺碧の海 串本町 ～

串本町は、旧串本町と古座町が平成17年4月に合併して誕生しました。

串本といえば美しい海。約120種類のサンゴが分布しています。潮の引いた日に海中に2、3歩足を入れると、すぐ近くにサンゴの群生に気づくことの出来る豊かな海です。串本町の沿岸地域は、「国際湿地条約」ともいわれる「ラムサール条約」（1971年、イランのカスピ海湖畔の町ラムサールで開催。重要な湿地を守り次世代に伝えていくことを提唱する条約）に登録されています。年間を通じて暖かな水温と高い透明度を誇る串本の素晴らしい海を体験してみませんか。

#### 潮 岬（潮岬灯台・望楼の芝生）

潮岬灯台はイギリス人技師リチャード・H・ブラントン設計。明治3年の初点灯以来、100余年もの間、沖行く船を照らし続けています。68段のらせん階段を上り、台上に出れば太平洋の大海原が広がります。

潮岬灯台から東へ約の先端500mのところ、潮岬観光タワーがあります。そこでは、「本州最南端訪問証明書」を発行も。展望室からは、360度の景色が楽しめ、天気の良い日は、那智山まで見渡せます。タワーの前には、約10万㎡の広さの芝生（望楼の芝）が広がっています。そこには昔、海軍の物見櫓（望楼）がありました。



#### 橋杭岩（表紙写真参照）

串本から大島に向かって、橋の杭のように岩が並んでいる橋杭岩は、国の名勝天然記念物に指定されています。並んだ長さは、約850m、岩の数は大小合わせて40余り。海の浸食により、硬い部分だけ残り、そのような形になっています。その岩について、昔から伝えられる伝説では、天邪鬼が弘法大師に一晚で橋を架ける競争を持ちかけて、大師が山の岩で、2、3時間のうちに、橋杭を並べた。このままでは負けると焦った天邪鬼が鶏の鳴き真似をして、朝だと思わせ、橋杭だけが残ったというものです。

#### きんかん・うつぼ・トビウオ

「きんかんは皮を食べて実を捨てる」と言われますが、串本のきんかんは、実も甘くて食べることが出来ます。大きさ品質ともに1級品で、関西の高級料亭などでも使われています。シロップ漬けや生のまま食べられたりします。また、きんかんソフト（キンカンのアイスクリーム）やトルコ友好の町、串本町では、本場のトルコアイスも味わえます。南国のスイーツでほっと一息いかがですか。

海のギャングと言われるウツボ。干して佃煮風にしたのが「うつぼの小明石煮」。珍味です。

和歌山県内で唯一トビウオの水揚げを行っている串本町。もちもちとした舌触りが絶品のトビウオは「トッピー」の愛称で親しまれています。「トッピー倶楽部」の加盟会員店ではいろいろなトビウオ料理が楽しめます。

串本町ホームページ <http://www.town.kushimoto.wakayama.jp/>

## ～編集後記～

梅雨明けも間近に控え、和歌山はこれから本格的な夏を迎えます。

県営紀三井寺球場では、第91回全国高校野球選手権の県予選も開幕し、高校球児と応援スタンドが一体となった熱戦が連日のように行われています。

今春の選抜高校野球大会では、県立箕島高等学校が18年ぶりに甲子園に出場し、ベスト8という素晴らしい成績を収めました。和歌山県は、過去数多くの甲子園で活躍した選手を輩出してきた野球王国です。ひたむきにプレーする高校球児を見るのは清々しく、昔も今も県民に元気と勇気を与えてくれます。

甲子園で活躍した数多くの選手のなかでも、我々が忘れてはならない選手が、旧制海草中学（現向陽高等学校）の嶋清一投手です。昭和14年に甲子園の大会史上初めて5連続完封の全国制覇を果たし、しかも準決勝、決勝と2試合連続のノーヒットノーランを達成したという偉業は、今もなお球史に語り継がれています。

しかし、そうした金字塔を打ち立てながら、第2次世界大戦の学徒出陣により昭和20年3月、24歳の若さで戦火に散った選手です。昨年、終戦記念日の8月15日に甲子園球場において、嶋清一氏の野球殿堂入りの特別表彰式が開催され、後輩である県立向陽高等学校野球部のキャプテンにレリーフが手渡されました。

私たちは、和歌山を築いてきた偉大な先輩達に対し、常に尊敬の念を持つとともに、現在の日本が平和であることの尊さを胸に刻んで、元気な和歌山づくりに取り組んでいかなければならないと思います。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2009年（平成21年）7月 NO.16

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022